

燃えにくい木材開発

新丹生谷組合と兵庫の業者

新丹生谷製材協同組合(那賀町)と木材保存処理業のモクラボ(兵庫県姫路市)が、徳島県産スギを使った燃えにくい木材を開発し、国土交通大臣から建築基準法施行令で定める準不燃材料として認定された。木造化と耐火性の向上が求められる公共建築物への利用を見込む。2014年度中に県内に生産工場を建設、多くの需要が期待できる都市部への販路開拓を目指す。

準不燃材料認定 生産工場建設へ

開発した木材「タフネン」は、3種類の薬剤を混ぜた水溶液と木材を圧力釜に16時間入れ、薬剤を木材に均一に染み込ませる。従来の防火木材は薬剤が水に溶けやすく、湿気を吸うと薬剤が木の表面に浮き出たり耐火性が落ちたりする欠点があった。タフネンは薬剤が木材の中で化学反応を起こして水に溶けにくくなる性質があり、耐水性に優れている。薬剤は無色の必要が高まっている。透明のため、加工後の木の色つやが損なわれない利点もある。こうした場合、新丹生谷製材協同組合とモクラボは、県と連携し、防火木材の開発に着手。09年から10分間燃えず、有害ガスを発生しないなどの条件を満たす必要がある。建築基準法施行令で、不特定多数の人が利用する劇場やホテル、百貨店、集会所など特殊建築物の天井や壁に準不燃材料の使用を義務付けており、準不燃材料として主に使われている石こうボード



準不燃材料に認定された木材で作った壁＝徳島市の木材利用創造センター

に替わる建築材として浸透を図る。新丹生谷製材協同組合の平井賢治専務理事は「公共建築物に利用されれば大きな需要が見込める」と期待。モクラボ徳島研究室の阿部健一室長は「従来品の欠点を克服できた。早期に製造販売を開始し、県産材の利用拡大につなげたい」と話している。(久保高茂)

徳島新聞

発行所 徳島市中編鳥町2丁目5番地2
徳島新聞社
電話0883-555-7373
郵便振替口座01630-5-2221
© 徳島新聞社

事件、事故、話題、写真提供のご連絡は下記支局へ

鳴門支局	088-686-2691
松茂支局	088-699-3707
小松島支局	0885-32-0622
阿南支局	0884-22-2101
石井支局	088-674-0071
板野支局	088-672-1458
吉野川支局	0883-24-2347
阿波支局	0883-36-3507
美馬支局	0883-52-0151
三好支局	0883-72-1235
那賀支局	0884-62-1800
美波支局	0884-77-1738
牟岐支局	0884-72-0134